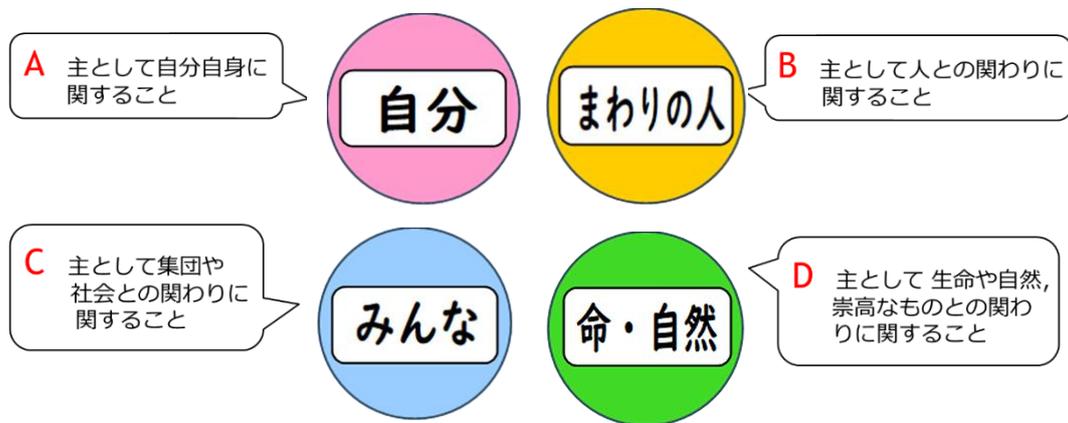


校内研究の実際 「道徳科の授業の充実」

(1) 道徳教育の四つの視点の明確化

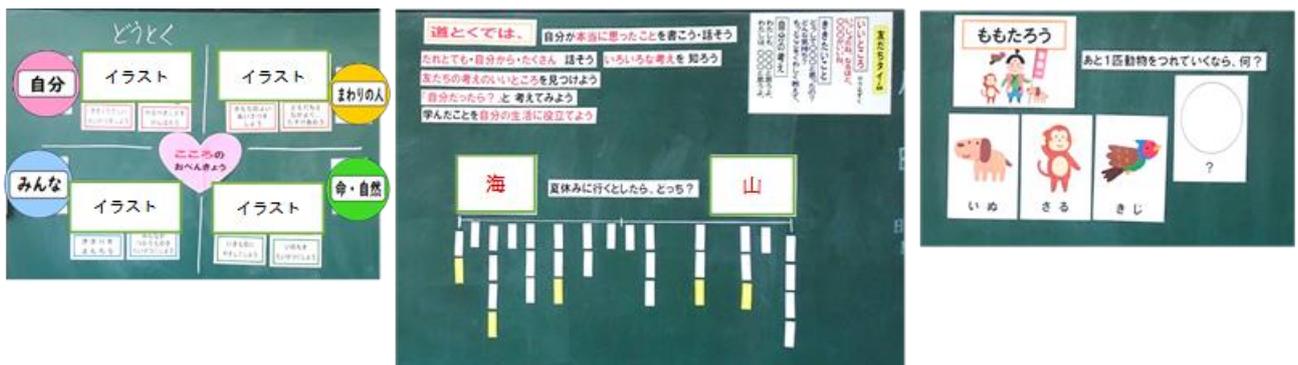
道徳教育の四つの視点を「四つの心」と名付け、「A 主として自分自身に関すること」を「自分」、「B 主として人との関わりに関すること」を「まわりの人」、「C 主として集団や社会との関わりに関すること」を「みんな」、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を「命・自然」と表現し、日本文教出版教科書のアイコンに言葉をつけ、表示した。板書やワークシート、掲示物などで使用している。



(※上記のマークは、実際に使用しているものとは異なる)

(2) 年度当初の道徳科オリエンテーションの実施

年度当初の授業では、全クラスで道徳科のオリエンテーションを実施する。



主な内容

- ・これまでの道徳授業の振り返り
- ・道徳科の意義について
- ・「四つの心」や内容項目の確認
- ・友達との交流のしかたなど

【交流テーマ】(例)

- 2年:好きな動物は何? その理由は?
- 3年:「桃太郎」あと1匹連れていくな? 何?
- 4年:夏休みに行くとしたら、海?山?
- 5年:「大きなかぶ」一番がんばったのは誰?
- 6年:無人島に一つだけ持っていくとしたら何?

(3) 授業づくりの工夫

授業の流れを全校で統一し、それに沿って指導計画を立てる。

| | |
|--|--|
| <p>1 気づく(導入) 教材の内容や道徳的価値に関する導入</p> <p>2 考える(展開前段) 教材で道徳的価値を知る・考える</p> <p>3 深める・広げる(展開後段) 自己との関わりで考え、道徳的価値を深める・広げる</p> <p>4 見つめる(終末) 道徳的価値や自分の生き方を振り返る</p> <p>5 今日の学習の振り返り(自己評価)</p> | <p>必ず、交流活動（友達タイム・みんなでタイム）を入れる。</p> <p>自己との関わりで考えたり、自己の生き方を見つめたりする時間を入れる。</p> |
|--|--|

発問を考える際は、二人一組になり、指導者役と児童役になって実際にやりとりを試みる。やりとりをすることで適切でない発問がわかり、修正しながらより効果的な発問を考えられる。

また、先に授業をした学級の指導者は、授業の改善点を後から授業をする学級の授業者に伝える。そうすることで、発問やワークシートを改善することができ、より充実した授業づくりにつなげることができる。

学期末には、指導者の道徳授業の振り返りを行い、課題や今後の取組について考える。

1学期の道徳授業の振り返り (1・2年)

① ◎〇△で、振り返ってみましょう。

| | 1年 | 2年 |
|---|----|----|
| 授業の教材は、学年でそろえたか。 | | |
| 授業の流れ・発問などについて、学年で話し合いができましたか。 | | |
| 先に授業をしたクラスは、次のクラスへアドバイスができましたか。 | | |
| 「4つの心」を使いましたか。(黒板・ワークシート) | | |
| 授業に、「交流(対話・議論)活動」を入れましたか。 (「友達タイム」「みんなでタイム」) | | |
| 週末に「家族でタイム」ができるように、カードを配ったり、保護者に呼びかけたりできましたか。 | | |
| 作成した教材は、共有できるように保存していますか。 (①道徳セットとして袋に入れる ②共有フォルダにデータを保存する) ※新しい教科書の挿絵や新しい4つの心に合わせて、作り変えましたか。 | | |
| クラス掲示版に、授業で学習した教材カードを掲示しましたか。 | | |
| 「グループで共通して行う取組」を行うことができましたか。 | | |

② 2学期にむけて(グループの取組)

- 授業の教材は、学年でそろえたか。
- 授業の流れ・発問などについて、学年で話し合いができたか。
- 先に授業をしたクラスは、次のクラスへアドバイスができたか。
- 「四つの心」を使ったか。(黒板・ワークシート)
- 授業に、交流活動(友達タイム・みんなでタイム)を入れたか。
- 週末に「家族でタイム」ができるように、カードを配ったり、保護者に呼びかけたりできたか。
- 作成した教材は、共有できるように保存しているか。(新しい教科書に合わせて作り変えたか。)
- クラス掲示版に、授業で学習した教材カードを掲示したか。
- 「グループで共通して行う取組」を行うことができたか。

(4) 自分の考えを明確化させるための工夫

思いを伝え合う活動を充実させるためには、まず、児童に自分の考えをしっかりとらせることが重要である。そこで、**静かにじっくりと自分で考える時間「一人でタイム」**を設定した。

書くことに慣れていない一年生や考えることが苦手な児童のワークシートには、書き出しの言葉を指定することで、考えをまとめやすくした。

① 「わたし」が ひむかかたるをつくってみたいとおもったのは、
どうしてでしょう。

わたしも、『ひむかかたる』をつくってみたいな。
なぜかというと、

挿絵

② きょうの どうとくて、かながえた ことを かきましよう。

うそばかりついていると ()

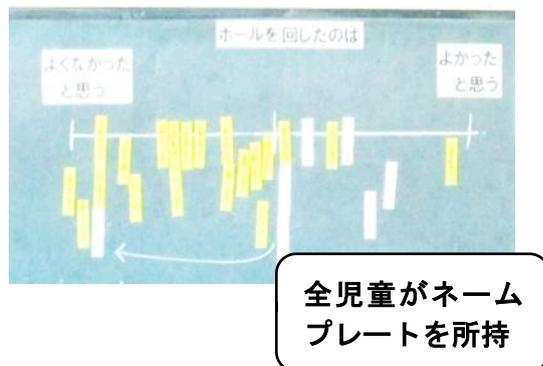
自分の考えを表現するための手立てとして、お面やネームプレートを使った役割演技や、心のものさし、表情絵、ハートグラフなどを活用している。表情絵は、番号をつけることで心情を選びやすくした。声を出さずに、指で番号を示すこともできる。ハートグラフは、学年の発達段階に合わせて円盤型とハート型を使い分けている。

これらの工夫を通して、自分の考えを表現することが苦手な児童も考えを表現しやすくなり、思いを伝え合うことができた。

【役割演技】



【心のものさし】



【ハートグラフ】



【表情絵】



(5) 交流のさせ方の工夫

自分の考えを広めたり深めたりさせるためには、友達との考えの交流の充実が不可欠である。そこで、**ペア、グループ、旅行型等の形態で考えを交流する時間を「友達タイム」、学級全体で交流する時間を「みんなでタイム」と設定した。**

めざす交流の姿を低・中・高学年ごとに設定し、交流の際の約束事やめあてを児童に意識させるようにした。

【交流における目指す児童像】

| | |
|-----|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで伝え合う。 ・比べながら聞く。(にている・少し違うなど) ・友達の考えに対して、言葉を返す。 (・書いたことを読まなくても、自分の考えを話すことができる。) |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・話型や定型文にとらわれすぎず、自分の言葉で返せる。 ・友達の考えをしっかりと聞き、2往復以上の会話をを目指す。 |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを読むだけでなく、自分の言葉で対話することができる。 ・自分と違う立場の意見を認め、対話をつなげることができる。 |

また、「友達タイム」の際に話す観点を低・中・高学年ごとに示した。

【低学年】

| | |
|---------------------|--|
| ともだちタイム | くらべて おなじ。 (ちよつと)ちがう。 いいところ いいね。なるほど。 たしかに。 ※うなずく |
| ききたいこと どうして? なぜ? | |

【中学年】

| | |
|---|--|
| 友だちタイム | いいところ いっしょだね。なるほど。 ○○○がいいね。 ※うなずく ききたいこと どうして○○○と思ったの? どんな気持ち? もっとここをくわしく教えて。 |
| 自分の考え わたしも、○○○と思うよ。 わたしは、○○○と思うよ。 | |

【高学年】

| | |
|---|---|
| 友だちタイム | いいところ ○○○がいいね。 そういう考えもあるね。 ※うなずく ききたいこと どうして○○○と思ったの? どんな気持ち? くわしく教えて。 |
| 自分の考え + 根きよ わたしも、○○○と思うよ。 わたしは、○○○と思うよ。 根きよ + 経験 なぜなら… 自分だったら… | |

(6) 評価方法

① 授業記録シート

授業での児童の発言、反応 (つぶやき・うなずきなど)、交流の様子などを記録しておく。

| | | |
|--------------------------|---|-----|
| 月 | 日 | 教科名 |
| 発言・記述 | | |
| 反応 つぶやき うなずき など | | |
| 交流の様子 | | |
| その他 | | |

② ワークシート

ワークシートには必ず「今日の道德の振り返り」欄を設け、児童に花丸・二重丸・丸・三角で自己評価をさせる。

児童の自己評価は、児童自身の評価だけでなく、指導者の授業評価としても見ることができる。花丸や二重丸が少なく三角が多い授業は改善の余地があり、今後の授業づくりの課題となる。

【今日の道德のふり返り】    

- ・「○○○」について、考えることができた。()
- ・自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができた。()
- ・友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。()
- ・これまでの自分やこれからの自分について、考えることができた。()

③ 学期の振り返りシート

このシートを使い、学期末に振り返りをさせる。

「自分の考えをもち、友達に伝えることができたか」「友達の考えを聞いて、いろいろな考えを知ることができたか」「友達タイムやみんなでタイムで、自分の考えを深めたり広げたりすることができたか」「これまでの自分やこれからの自分のことを考えることができたか」等の質問や、「心に残った教材とその理由」、「自分がのびすことができたと思う四つの心」などの記述欄がある。

その学期の評価はもちろん、学期ごとの振り返りシートを比較することで、児童の成長の様子の見取りとして活用できる。

| 1学期の道德の振り返り (3~6年生用) | | | | |
|---|------------------|-----|-----|-----|
| ()年()組()番 名前() | | | | |
| ① 1学期の道德の学習を振り返って、おてはまるようにOを塗きましょう。 | | | | |
| | よく | できた | 友達の | できた |
| | でき | | 考え | かった |
| しっかり考えることが | | | | |
| できましたか。 | | | | |
| 自分の考えをもち、友だちに伝えることが | | | | |
| できましたか。 | | | | |
| 友だちの考えを聞いて、いろいろな考えを知ることが | | | | |
| できましたか。 | | | | |
| 「友だちタイム」や「みんなでタイム」で、自分の考えを | | | | |
| 深めたり広げたりすることが | | | | |
| できましたか。 | | | | |
| これまでの自分やこれからの自分のことを考えることが | | | | |
| できましたか。 | | | | |
| ② 1学期の道德の学習で、わかったこと・できたこと・もっとがんばりたいことなどを書きましょう。 | | | | |
| | | | | |
| ③ 1学期の道德の学習で、特に心に残っているものは、何ですか？ | | | | |
| 教科の | 名前 | | | |
| 理由 | (できるだけ詳しく書きましょう) | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ④ 1学期の道德の学習をして、あなたが のびすことができたと思うものは、何ですか。 | | | | |
| Oで、かこみましょう。(理由) | | | | |
| 四つのハートアイコン | | | | |

(7) 授業研究会の実施

全校授業研究会を3回、グループ授業研究会を5回、計8回の授業研究会を行い、研修を深めることができた。全校授業研究会では、佐賀県道德スーパーティーチャーの金丸ゆか先生を講師に招き、助言・ご指導をいただいた。

2学期以降の研究授業の学習指導案は夏期休業中に作成することにした。夏期休業中に研修時間を設け、グループで話し合ったり金丸先生からご指導をいただいたりすることで、2学期以降の業務負担を減らすことができた。

(8) 年間カリキュラムの見直し

年度末に、学年ごとに年間カリキュラムの見直しを行う。その際、他教科等とのつながりで単元化できるものはないか考え、次年度でのよりよい授業づくりにつなげていく。

(9) 教材・資料の共有化

作成した教材や資料は、道徳教材コーナーの教材袋に紙媒体として保管し、データはパソコンの学年教材ごとのフォルダに保存している。

また、異動の際には、そのデータを新任校で活用することを推奨している。そうすることで、本校だけでなく地域の道徳教育を充実させていくことができると考える。

【道徳教材コーナー】授業セット



（ / ）年 23

001 ニわのことり 日文

002 みんなとなかよく

003 B 友情 信頼

入っているもの (0)

| | | | |
|------|-------------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 挿絵 | <input type="checkbox"/> | ワークシート | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 本時案 | | 本文 | |
| 板書計画 | <input checked="" type="checkbox"/> | お面 | <input type="checkbox"/> |
| | | ペンアート | <input checked="" type="checkbox"/> |

【道徳教育フォルダ】データ

| | | |
|---------------------|----|-------------------|
| 01 授業教材 (学年別) | 1年 | 挿絵 |
| 02 4つの心 | 2年 | ワークシート「マンガ家 手塚治虫」 |
| 03 ワークシート書式 | 3年 | 動画：手塚治虫 |
| 04 授業づくりシート・授業記録 | 4年 | 板書写真・本時の流れ |
| 05 学習指導案 書式 | 5年 | 板書用の言葉 |
| 06 教室掲示用・教材カード | 6年 | |
| 07 表情絵 | | |
| 08 道徳アンケート | | |
| 09 道徳授業のふり返り (児童) | | |
| 10 道徳授業の振り返り (職員) | | |
| 11 サッキーカード・サッキーファイル | | |
| 12 さくらカード | | |
| 13 家族でタイム | | |
| 14 ふれあい道徳教育 | | |
| 15 全体計画・別案 | | |
| 16 交流「友だちタイム」観点 | | |
| 17 サッキー画像 | | |

校内研究の実際

「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実」

(1) 「サッキーカード」と「サッキーファイル」の活用

「サッキーカード」は、行事や総合的な学習の時間などの際に活用する全校共通のカードで、「サッキーファイル (キャリアパスポート)」に保管していく。

活動前に自分のめあてを記入し、活動後に振り返りを行う。自分の頑張りやその活動で見つけた友達のよさ、自分がのびすことができたと思う四つの心などを記入する欄がある。このカードを用いることで、自分の頑張りや成長を記録することができる。また、友達のよさを見つけ紹介し合うことで、自他のよさを認め合うことにつながると考える。

保護者からのコメント欄もあり、カードを保護者に見せることで、保護者にも児童の頑張りや成長を知ってもらうことができる。また、保護者からのコメントが児童のやる気や自己肯定感を高めることになる。

サッカーカード

()年()組()番 名前()

《自分のめあて》

《ここからは、終わった後に書きましょう。》

① 自分のがんばったことや、めあてのことなど、感想をかきましょう。

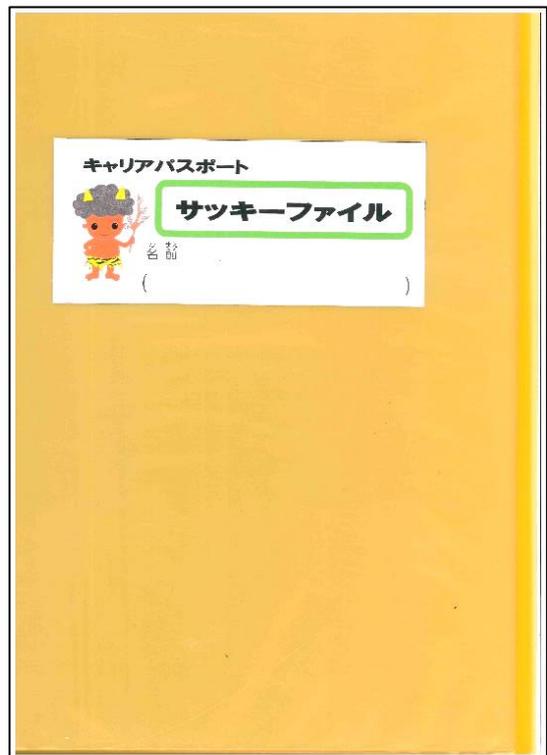
② この活動で見つけた 友だちのよさ(がんばり) を教えてください。

③ あなたが のばすことができたと思う心 は、どれですか？ ○で かこみましょう。

自分 まわりの人
みんな 命・自然

【理由】

《お家の人から》



(2) 「道徳アンケート」の実施

道徳科や道徳的価値に関する児童の意識を把握し、その変容を捉えることをねらいとして、5月と12月の年2回、全校児童に道徳アンケートを実施している。

質問は、「学び方・実生活」に関する3項目と、道徳教育の内容項目に関する19項目の計23項目。質問に対し、「そう思う(できている)」「だいたいそう思う(だいたいできている)」「あまりそう思わない(あまりできていない)」「そう思わない(できていない)」の4つから選んで回答する。

「そう思う」「だいたいそう思う」を「肯定的意見」として、各学年・全校で集計し、それぞれの結果の分析を行い、改善策を考え実践している。

(3) 環境整備

① 学級の道徳掲示板

学習した教材のカードを四つの心に分類して掲示していく。

児童が見やすい場所に掲示することで、いつでも学習の振り返りができるようにしている。



② 全校道徳掲示板「こころコーナー」

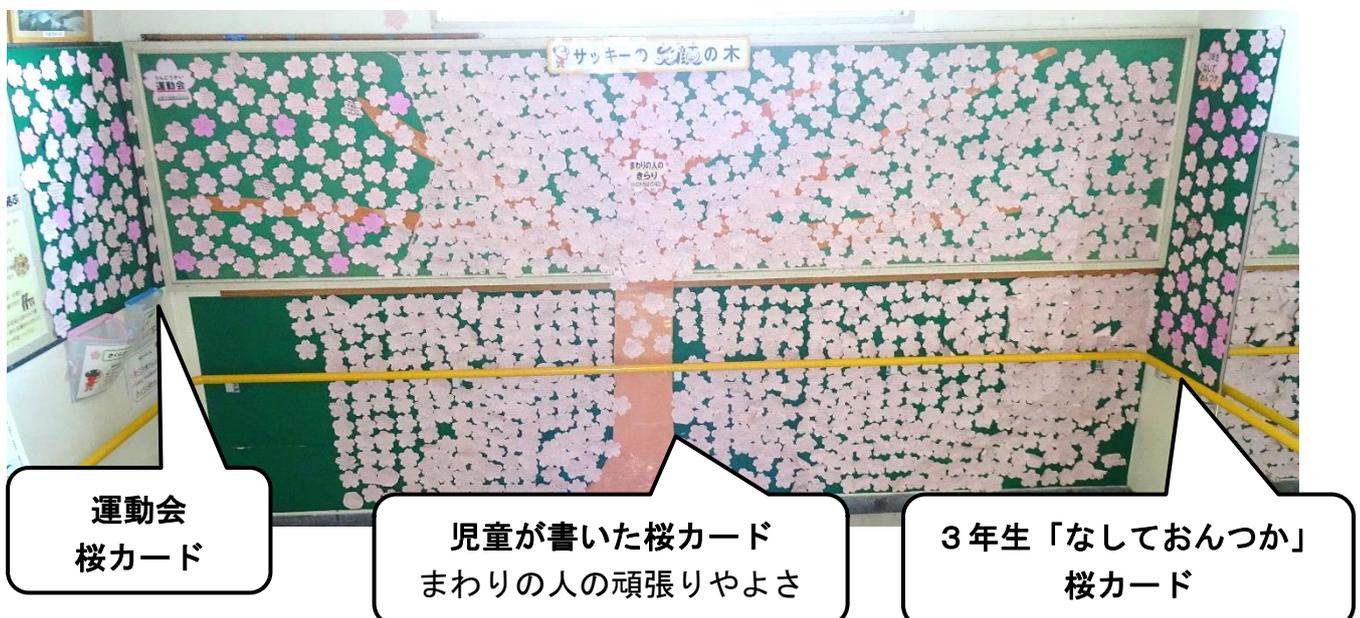
全校児童が必ず通る児童玄関前に設置している。道徳科で学習した内容を紹介することで、他の学年の児童もその内容について興味をもったり、考えたりできることをねらいとしている。



③ サッキーの笑顔の木

保護者や地域の方からの桜カードや、児童が友達のよさや頑張りを見つけて書いた桜カードを掲示している。桜カードを掲示することで、児童のよさや頑張りを目視化し、自分や友達のよさに目を向けることを促している。

給食時の放送で、コメントをたくさん紹介することで、桜カードへの児童の関心が高まっている。



④ さくらボックス

昨年度までの桜カードを入れておく箱。
外から桜カードの量が見えるようになっており、学校全体の桜カードがたくさんになったことがわかる。
児童がいつでも自由に取り出して見ることができるように、校長室前に置いている。



校内研究の実際「家庭・地域との連携」

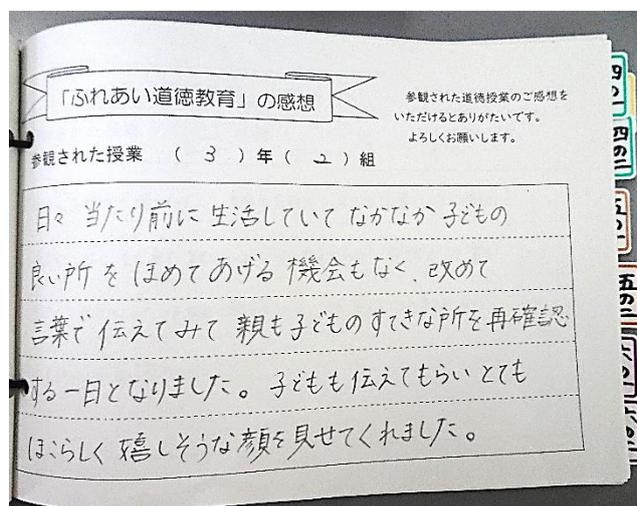
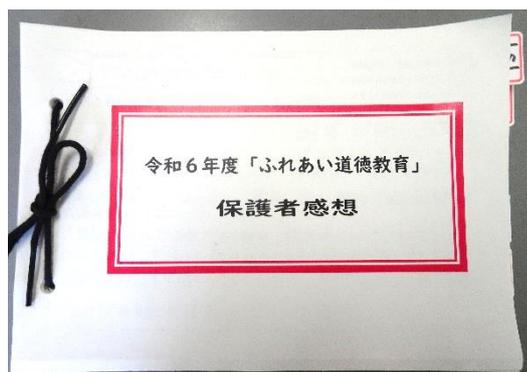
(1) ふれあい道徳教育

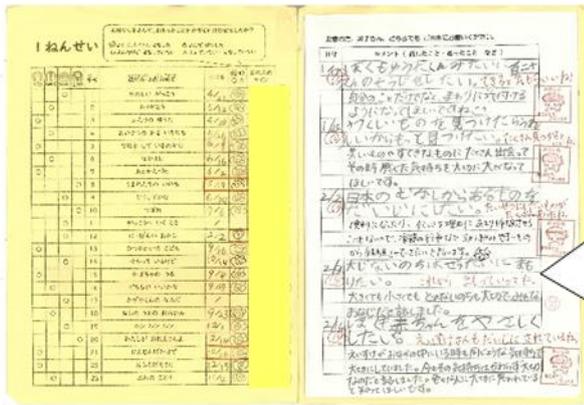
「ふれあい道徳教育」の授業参観では、必ず保護者との交流の時間を設けている。保護者と考えを交流することで、児童の考えがより深まったり広がったりすることをねらいとしている。また、道徳科の授業が他者との対話を重視していることについて保護者の理解も深まると考える。

授業後には、「ふれあい道徳」の感想を保護者に記入してもらい、児童や他の保護者に紹介する取組も行っている。



1年生の授業では、最後に、保護者から子どもへの思いを語ってもらった。



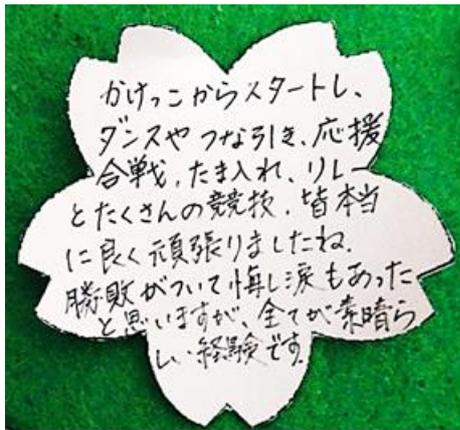


日本のせかしからあるものを
 だいいにしたい。たいせつにしたものが
 便利になたり、忙いを理由にあり体験せる
 ことないので、季節の行事ない 取り組みせもの
 から経験させていいたいと思ます。

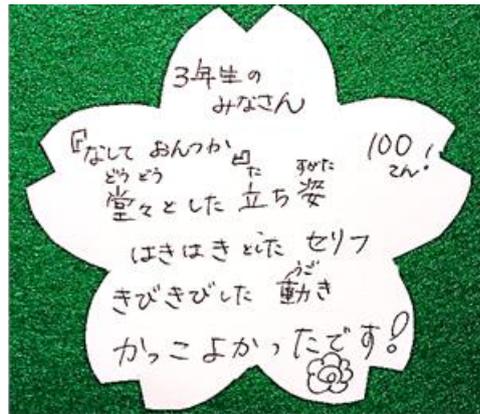
(3) 保護者・地域の方からのコメント

① 桜カード

運動会や持久走大会等の行事の際には、保護者や地域の方からも児童へのメッセージを書いてもらう。集まったカードは校内に掲示し、一部を校内放送や道徳だよりで紹介する。保護者や地域の方からのメッセージを読むことで、児童が自分達のよさや頑張りを再認識し、自己肯定感を高めることをねらいとしている。



【 運動会 】



【 3年「なして、おんつか？」 】

② サッキーカード

《おうちの人から》
 はじめてのうんどうかいて、かけこやダンス、おうえんがせん、せんぶ力を
 出しきることができたね。たくさんのがんばりがみえて、せいちょうをかんじ
 ました。よくがんばったね。

(4) ハグハグ大作戦

一週間、家族とハグをしようという取組である。家族とハグをしてスキンシップを図ることで、家族の愛情を再認識させ、自己肯定感を高めさせることをねらいとしている。

家族の誰とハグをしたか毎日用紙に記録し、振り返りを行う。保護者からもコメントを記入してもらう。

全校共通の宿題にしているが、取組が難しい家庭もあるので、できる範囲でよいことを事前に知らせてから実施する。

【児童の感想】

- ハグハグ大きくせんをして、またかぞくとなかよくなったとおもいました。(1年)
- ハグは、いろいろな人がしあわせになって、自分もしあわせになります。(2年)
- これからもハグをしたいです。ハグをしたら、心があたたかくなりました。(3年)
- とても心が温かくなった。元気がとても出た。ハグハグ大作戦がある時だけでなく、毎日しようと思った。(4年)
- これをやってから、自分が家族とゆっくりすごす時間がますます増えているので、とてもうれしかったです。(5年)
- いつもはしていないハグだけど、取り組んでみて家族のあたたかさを知ることができました。これからも時間があったらハグをして、体も心もあたたかくなりたいです。(6年)

【保護者の感想】

- 赤ちゃんからだっこしているのを思いだし、大きくなったな〜と涙がでます。まだ1年生ですが、どんどん「ハグハグ」してくれない時がくるんだな〜と感じながら、今、たくさんハグハグしようと思います。(^^)(1年)
- 我が子とハグをすると、親の方もホッと安心する感じがあり、ハグは子どもだけでなく親にとっても大切なコミュニケーションのひとつだと思います。これからもハグをたくさんしていこうと思います♡(2年)
- 久しぶりに抱き上げて、体重がズッシリ重くなっているなと感じました。まだ素直にハグさせてくれるので、とってもかわいいです。(3年)
- 年齢が上がるたびにはずかしさが出ちゃいますが、ハグハグをして笑顔にならない子はいない気がします。家族みんなが笑顔になりますね。ニコニコ笑顔がたくさん見られて、嬉しかったよー!(4年)
- 日々、本人からも求めてくれるし、私も癒しを求めてハグハグしているのが、お互い笑顔になれるし安心するので、目指せ20才までハグハグ!!と思っています。大好きがあふれる毎日でした♡(5年)
- 大きくなってハグをする事がなくなっていますが、このハグハグ大作戦の時だけは、家族全員とハグしてくれます。今年が最後かなと思うとさびしいですが、機会があれば子供とハグしていきたいと思っています。(6年)

(5) 地域との交流

地域の方の協力のもとに、学年ごとに様々な交流を行っている。地域の方と交流を行い、児童は地域の自然や文化に触れ、様々な体験をすることができている。



1年生「れんげ畑に行こう」



1年生「おかしあそび」



2年生「町たんけん」



3年生「大谷川散策」



3年生「なして、おんつか?」(地域の歴史の人形劇)



5年生「米作り」



5年生「ガンバルーンゲーム」



6年生「地元の企業の方へインタビュー」

など

(6) 道徳だよりの発行

月1回程度の発行で、各家庭と地域の公民館に配布し、ホームページにも掲載している。

「四つの心」や道徳科についての説明、授業の様子、学習内容の紹介、保護者や児童の感想紹介、道徳アンケートの結果などを掲載することで、本校の道徳教育について情報を発信し、保護者や地域への道徳教育の啓発を促している。